

(様式第3号)

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課

観光経済部	商工	課
-------	----	---

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小倉山森林公園		
	所在地	日光市所野2848番地		
指定管理者	名称	日光彫り体験教室運営協議会		
	代表者名	山本 政史		
	住所	日光市所野2848番地		
指定期間	平成29年 4月 1日	～	令和4年 3月31日	5年間
選定方法	(公募) ・ 非公募		評価実施年	5年間のうち 4年目
施設設置目的	市民の貴重な財産である小倉山について、森林の持つ多面的機能性を活かし、市民の憩いの場として、及び観光資源としての有効活用を図るとともに、地場産業である木工芸及び農林業の活性化に努めるため、日光市小倉山森林公園を設置する。			
主な実施事業	1. 日光彫り体験教室運営業務 2. 小倉山森林公園の利用許可に関する業務 3. 小倉山森林公園の使用料の徴収に関する業務 4. 小倉山森林公園の維持管理に関する業務			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 日光彫体験者数(年間)	人	30,000	29,021	30,000	29,717	30,000	28,448	30,000	8,038		
b 日光彫実演日数	日	333	328	330	330	336	333	334	251		
c 冬期間の県内体験学校数	校	20	6	20	9	30	7	30	10		
d 森林公園内除草回数	回	4	4	4	3	3	3	3	3		
e 森林公園内巡回回数	回	12	13	12	13	12	8	12	-		

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入計 A	55,589,522	56,302,142	55,027,323	42,063,463	0
指定管理料	24,710,000	24,710,000	25,168,000	22,557,000	
事業収入 C	30,711,930	31,408,630	29,678,550	9,726,900	
自主事業収入	144,000	144,000	144,000	144,000	
その他	23,592	39,512	36,773	9,635,563	
支出計 B	54,699,508	55,089,804	54,294,651	40,436,385	0
指定事業費	54,539,508	54,929,804	54,124,651	40,140,385	
内人件費 D	12,618,997	13,660,957	14,054,921	11,344,529	
内外部委託費 E	2,439,026	2,609,318	2,819,046	2,824,985	
自主事業費	160,000	160,000	170,000	296,000	
事業収支 A-B	890,014	1,212,338	732,672	1,627,078	0
人件費率 D/B	23.07%	24.80%	25.89%	28.06%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	4.46%	4.74%	5.19%	6.99%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	・平成29年度から再度指定管理(5年間)を受けた。
------	---------------------------

サービス改善の状況

・日光彫り体験教室運営に関しては、各学校の意見などを取り入れサービスをしている。要支援者には要請があれば講師を増員して対応している。
・施設が各所傷んでいるので修繕箇所が多数で、随時改修等実施している。また、公園内の樹木の手入れ、伐採、枝木りなども多数実施している。
・公園内の利用については、周辺の自治会と連絡を取りながらやっている。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	B B B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A A	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	A B	B B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A A	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	A B A	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
	② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	B B B
事業運営		事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	B B B
維持管理		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A A B A	B B B B
環境配慮		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
広報活動		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
苦情等対応		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A A	B B
利用者アンケート		利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
利用状況		利用実績は、目標水準である。	C	C
総括		「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	・指定管理内では適切に運営している。			
	・利用者数は状況に応じて多少の増減はあるものの、概ね目標に近いものとなっている。			
	(所管課評価)			
	・体験者からのアンケート調査の結果、利用満足度及び再利用希望率は高いので、観光施設として、一定の役割は果たしている。 ・令和2年度はコロナ禍の影響もあり、体験者数が8,038人と目標の3万人を大幅に下回った。アンケートの結果では日光市内からの体験者数は3件なので、今後も学校団体の再利用だけでなく、市内、県内外の新規顧客を増やすために、さらなる広報活動を積極的に行う必要がある。 ・小倉山森林公園の全体の維持管理として、樹木の伐採や草刈り、遊歩道の管理なども農林課等と連携して適切に行う必要がある。 なお、令和2年度は、熊の出没などで、森林公園内の巡回を実施できなかったため令和3年度は適切に行う必要がある。			
前年度総合評価	B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			